

貸借対照表

(令和3年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	195,385	流動負債	35,510
現金及び預金	149,748	買掛金	16,704
売掛金	29,690	未払費用	1,881
商品	13,143	未払法人税等	5,778
前払費用	415	未払消費税等	3,777
繰延税金資産	315	前受金	7,286
未収収益	1,079	その他	81
その他	1,300		
貸倒引当金	△ 308		
		負債合計	35,510
固定資産	50	(純資産の部)	
投資その他の資産	50	株主資本	159,925
出資金	50	資本金	80,000
		利益剰余金	79,925
		その他利益剰余金	79,925
		繰越利益剰余金	79,925
		純資産合計	159,925
資産合計	195,435	負債・純資産合計	195,435

個別注記表

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 資産の評価基準及び評価方法

① 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法に基づく原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）により評価しています。

(2) 引当金の計上基準

① 貸倒引当金

売上債権等の債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については税法繰入限度額と貸倒実績率で算定した金額のいずれか多い金額により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

(3) その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

① 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式を採用しています。

② 計算書類に記載した金額の端数処理の方法

記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しており、金額が千円未満の科目については「0」で表示しています。

2. 株主資本等変動計算書に関する注記

(1) 当該事業年度の末日における発行済株式の数

普通株式 1,600 株